

令和6年人生100年時代づくり・地域創生ソフト事業総括

1. 事業の名称

七ヶ浜アロープログラム事業

2. 事業の目的

本町では「ダーツの町、はじめました」をキャッチフレーズに、スポーツダーツを活用した「七ヶ浜アロープログラム」を推進しています。

ダーツは、投げる動作ができれば年齢等を問わず誰でも楽しめるスポーツで、作戦を立て、得点を計算しながらゲームを進めなければならないことから、脳の活性化も期待できます。

このダーツを地域の介護予防教室や放課後児童クラブ、地域活動に取り入れ、普及を図ること
で、町民の健康増進、健康寿命延伸と、幅広い年齢層と一緒に楽しめることから、世代間交流の促進、地域コミュニティ醸成に繋げることを目的としております。

現在、本町には15の行政区がありますが、世代間交流促進、地域コミュニティ醸成のツールとして独自にダーツを購入する地区もあり、地区活動において子どもからお年寄りまで幅広く活用されております。

今後、より人口減少、少子高齢化が進展していく中で、本事業は、高齢者社会対策大綱「3 学習・社会活動」にある「世代間、世代内の人々の交流を深めて世代間交流や相互扶助の意識の醸成」、そして「3 学習・社会活動 (2) 社会参加活動の促進」にある「多世代による自主的な社会参加活動支援」「高齢期においてもレクリエーション、観光、趣味、文化活動等で充実した時間を過ごせる環境整備」に、大いに資する事業であると考えます。

3. 実施方法

七ヶ浜ダーツフェスタの「町民ダーツ大会」および「地区対抗ダーツ大会」開催までのスケジュールは以下のとおりです。

○町民ダーツ大会、地区対抗ダーツ大会開催スケジュール

4月	町区長会にて町民ダーツ大会、地区対抗ダーツ大会の実施を通知
5月～9月	大会内容の検討
10月	大会内容決定
11月	大会周知、各地区において説明会および練習会
1月	大会エントリー開始、各地区において説明会および練習会
2月	町民ダーツ大会、地区対抗ダーツ大会開催

4. 事業内容及び実施状況

ダーツによる幸福度調査

8月19日（月）午後 湊浜地区 地区避難所 参加者15名
8月20日（火）午前 境山地区 地区公民分館 参加者9名
同 日 午後 松ヶ浜地区 地区避難所 参加者9名
8月21日（水）午前 花渕浜地区 七ヶ浜国際村 参加者2名

汐見小学校ダーツクラブ（場所：七ヶ浜町立汐見小学校 多目的室）

1回目 6月5日 参加者24名（島津プロデモンストレーション）
2回目 6月19日 参加者23名
3回目 7月10日 参加者24名
4回目 9月25日 参加者25名
5回目 10月9日 参加者23名
6回目 11月27日 参加者26名
7回目 12月11日 参加者24名

七ヶ浜ダーツフェスタ（2月8日（土）開催 場所：七ヶ浜国際村ホール）

地区対抗ダーツ大会 午前 14地区110名参加（10歳未満～70代以上）
町民ダーツ大会 午後 33チーム66名参加（最年少8歳、最年長85歳）
※大会前にのべ12回地区説明会、練習会を実施

5. 事業の効果

ダーツによる幸福度調査

ダーツによる幸福度調査に関しては4地区35名に参加いただきました。今年度の調査内容は認知機能に関するペーパーテスト、身体機能に関する実技調査、ダーツの投擲フォームの動画撮影の3種目でした。今回が昨年度より6か月に1度、計3回行う調査の最終回で、当調査には長崎県壱岐市のほか、広島県熊野町、熊本県南阿蘇村が参加していました。

調査実施後、県立広島大学の教授より講評があり、追跡調査はどうしても複数年継続することによってようやく有意なデータを得られるということで、来年度以降も継続して実施していくことが望ましいということでした。調査結果は前述のとおり結論を出すまでのサンプル数にないということで教授の所見に留まりますが、本町は他の地区に比べ、調査結果が良くないという傾向にあるようでした。今後この数値が改善していくかは本町の健康寿命の延伸に深くかかわってくるところなので、注意深く見守り、継続していきたいと思います。

参加者からは、当調査を行うことでダーツに対し興味関心が湧いたという方が多くおり、今後もダーツを通して軽運動や町民同士のコミュニケーションを促進していきたいと思います。

6. その他（感想等）

小学校でのダーツクラブ発足に関しましては、校長先生がとても協力的だったので、学校全体で「ダーツの町 七ヶ浜」を盛り上げていこうという雰囲気になりました。また、(株)ダーツライブ様からダーツ用品の提供などもあり、スムーズに進めることができました。

町からの一方的なお願いではなく、お互いにダーツに対する熱量があったからこそ、歩み寄ることができ、この事業はうまくいったのではないかと感じました。

地区対抗ダーツ大会、町民ダーツ大会では、地域の方々の参加を募るために全地区を回りましたが、全地区からの承諾を得るのはなかなか難しく、15 地区のうち 1 地区が不参加となり、次年度以降の課題となりました。大会の参加者数は、地区対抗ダーツ大会が 110 名、町民ダーツ大会が 66 名の参加で大いに盛り上がりました。今後も定期的なイベントとして継続していけるよう、町民が参加しやすい形を模索しながら取り組んでいこうと思います。

○ダーツによる幸福度調査



○汐見小ダーツクラブ



○七ヶ浜ダーツフェスタ

